

がん化学療法レジメン登録票

レジメン名	q6w ペムブロリズマブ (ホジキンリンパ腫)
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	HL-010
登録日・更新日	2020/10/27
削除日	
出典	キイトルーダ点滴静注 適正使用ガイド
入力者	湯山 聡

投与順に記入 (抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ペムブロリズマブ (キイトルーダ点滴静注)	100mg	400mg/body	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	30分	day1
	生理食塩液*1	100mL				

1コースの期間	42日
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能(1日) ・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	-
計算後の投与量下限値	-

減量・中止基準	<p>【延期基準】 Grade 2以上の間質性肺疾患 Grade 2以上の大腸炎/下痢 AST(GOT)若しくはALT(GPT)が基準値上限の3～5倍 又は 総ビリルビンが基準値上限の1.5～3倍に増加した場合 Grade 2以上の腎機能障害 Grade 2以上の下垂体炎、症候性の内分泌障害(甲状腺機能低下症を除く) Grade 3以上の甲状腺機能障害 Grade 3以上の高血糖、1型糖尿病 Grade 2のInfusion reactionの場合(1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する)</p> <p>【中止基準】 Grade 3以上 又は 再発性のGrade 2の間質性肺疾患 Grade 4の大腸炎/下痢 AST(GOT)若しくはALT(GPT)が基準値上限の5倍超又は総ビリルビンが基準値上限の3倍超に増加した場合 (肝転移がある患者ではAST(GOT)又はALT(GPT)が治療開始時にGrade 2で、かつベースラインから50%以上の増加が1週間以上持続する場合) Grade 3以上の腎機能障害 Grade 3以上の場合又は再発性のGrade2のInfusion reaction 副作用の処置としての副腎皮質ホルモン剤をプレドニゾン換算で10mg/日相当量以下まで12週間以内に減量できない場合12週間を超える休業後もGrade 1以下まで回復しない場合 上記以外でGrade 4の副作用発現時</p>
前投薬	なし
その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・他の抗悪性腫瘍剤との併用について、有効性および安全性は確立していない ・臓器移植歴(造血幹細胞移植歴を含む)のある患者では、本剤の投与により移植臓器に対する拒絶反応又は移植片対宿主病が発現するおそれがある。 ・日局生理食塩液又は日局5%ブドウ糖注射液の点滴バッグに注入し、最終濃度を1～10mg/mLとする。 ・インラインフィルター(0.2～5μm)を使用して投与 <p>【免疫チェックポイント阻害薬を使用する際の注意事項】を参照</p>

記入者	湯山 聡
確認者	竹内 正美